

## 一般社団法人 日本写真学会 第 6 回 定時社員総会

日 時：平成 29 年（2017 年）6 月 21 日（水）9：00～9：40  
会 場：一橋講堂（学術総合センター）2 階会議室 202, 203 室  
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

### 【第 1 号議案】平成 27 年度事業報告

#### 1. 学会誌・学術図書及び資料の刊行（定款第 5 条（1））

##### 1-1 学会誌の刊行に関する事項

- 1) 発行回数 4 回 79 巻 2 号～4 号, 80 巻 1 号
- 2) 総頁数 375 頁
- 3) 特集
 

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 第 4 回アンビエント技術セミナー | (79 巻 2 号) |
| 2015 年のカメラ        | (79 巻 3 号) |
| 2015 年の写真の進歩      | (79 巻 3 号) |
| 光機能を活かす構造制御技術     | (79 巻 4 号) |
| 日本写真学会創立 90 周年記念  | (79 巻 4 号) |
| 画像保存              | (80 巻 1 号) |
- 4) 主要掲載事項および件数（Web 英文論文誌 BSPIJ を含む）

|           |      |            |     |
|-----------|------|------------|-----|
| 一般論文      | 9 件  | 口 絵        | 4 件 |
| ノートおよびレター | 1 件  | 紹 介        | 0 件 |
| 技術レポート    | 0 件  | 報 告        | 0 件 |
| 講 座       | 4 件  | 書 評        | 0 件 |
| 解 説       | 19 件 | 会 報        | 4 件 |
| 資 料       | 0 件  | その他(受賞者案内) | 1 件 |

- 5) 科学技術振興機構の電子アーカイブ J-STAGE に、発行後 1 年経過した論文・解説等の記事を掲載した。

#### 2. 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第 5 条（2））

##### 2-1 研究発表会、講演会などの実施

- 1) デジタルアーカイブ研究会（平成 28 年 5 月 11 日，東京工芸大学中野キャンパス 1101 教室）  
テーマ：「スチル写真をデジタル化・保存する際のカラーマネジメントについて」  
参加者：8 名
- 2) 第 23 回写真好きのための定例講演会（平成 28 年 5 月 13 日，株式会社 IMAGICA 東京映像センター）  
テーマ：「IMAGICA のアナログ的なフィルム整理工程やデジタル的な映像修復の現場見学」  
参加者数 24 名
- 3) 第 2 回天体写真技術研究会（平成 28 年 5 月 17 日，東京工芸大学中野芸術情報館大会議室）  
テーマ：「天体画像処理の問題点を探る」，「天体写真の画像処理方法に関する論文紹介」講演をベースに天体写真の画像処理に関する課題や背景についての理解を深める。  
参加者：34 名
- 4) 2016 年度日本写真学会年次大会（平成 28 年 6 月 8 日～9 日，東京工業大学すずかけ台元素戦略ホール他）  
日本画像学会年次大会併催  
特別企画  
基調講演（1）：宇宙の神秘，ダークマターを探る（高視野カメラ Hyper Suprime-Can によるダークマター分析，宇宙におけるダークマター問題とその直接探索）  
基調講演（2）：写真（フォトライフ）の楽しみを考える（写真はアップデートする，フォトライフをより楽しくするヒント）  
特別講演（1）：日本写真学会 90 周年記念講演  
・アンビエント技術一現状と将来展望—  
・「画像・映像そして文化のアーカイビング」—フィルム保存の継続とデジタル保存への対応—

・カメラの過去・現在・そして未来

特別講演（2）招待講演：日本画像学会の現在過去未来

特別展示：日本写真学会 90 周年記念特別展示

および，画像からくり，写真のある美術館・博物館・資料館紹介

その他，日本写真学会・日本画像学会合同セッション（インタラクティブセッション・ショートプレゼンセッション），学会賞受賞講演，招待講演，口頭発表，レセプションを実施した。  
総参加者数 97 名

- 5) 第 13 回光機能性材料セミナー（平成 28 年 6 月 20 日，東京工芸大中野芸術情報館）

テーマ：光機能性を活かす構造制御技術

講演：「有機超分子の発光 —分子をどのように集め，光らせるか—」（東大生産技術研究所：務台俊樹先生）以下講演 4 本

参加者数：34 名

- 6) 2016 年度 PHOTONEXT 技術アカデミー（平成 28 年 6 月 21 日，パシフィコ横浜 2F204 室）

テーマ：「フォトビジネス，来るべき新時代」

最新デジタルカメラシステムの技術動向，セッションⅡ：写真表現技術と出力技術」

セッションⅠ：セッション数 3 件，セッションⅡ：セッション数 4 件

参加者数 51 名（延べ）

- 7) 第 3 回天体写真技術研究会（平成 28 年 9 月 5 日，東京工芸大学中野芸術情報館 3F 大会議室）

テーマ：より高品位の天体写真を目指すための基本的な課題（階調再現，色再現，ノイズ対策，HDR 処理など）について，天体写真ならではの問題と一般写真のために行われている処理との対比から掘り下げる。今回は，「デジカメの階調処理と天体写真の階調処理」

参加者数 35 名

- 8) 第 20 回アンビエント技術研究会（平成 28 年 9 月 12 日，東京工芸大学中野 1 号館 1101 教室）

テーマ：「最近の有機単結晶を用いた集積デバイス（商用 IC カード規格で動く有機半導体デジタル回路）の研究」，と「プリントابلエレクトロニクス標準化について」講演 2 件と討議。  
参加者：23 名

- 9) 第 1 回写真好きのための講演・ワークショップ ファインアートプリント体験講座（平成 28 年 10 月 16 日，日本大学芸術学部江古田校舎 2F 写真講義室）

テーマ：写真好きの方々を対象に，写真出力の楽しさを感じていただき，写真作品をより多くの人に見せる楽しみにさや，自身の写真の世界を広げる体験講座

プログラム：『「デジタルカメラの画づくり」—きれいな写真を撮るためにカメラがやっていること・カメラのしくみ—』，『簡易キャリブレーションでモニタとプリンタの色を合わせよう』の講演 2 件と『用紙で広がる写真表現～ファインアートプリント体験～』の体験実習 1 件

参加者数：20 名

- 10) 第 24 回写真好きのための定例講演会（平成 28 年 10 月 25 日，東京写真美術館）

テーマ：東京都写真美術館リニューアル・オープン記念「杉本博司ロスト・ヒューマン」展観覧とギャラリートーク（東京写真美術館 丹羽担当学芸員）

参加者：17 名

- 11) 平成 28 年度画像保存セミナー（平成 28 年 11 月 2 日，東京都写真美術館ホール）

画像保存研究会とデジタルアーカイブ研究会が共同で，従来か

- ら取りあげてきた銀塩を中心とする写真画像、フィルム映像と、扱う機会が増えてきたデジタル画像、映像の両者を対象に、保存と活用について研究活動を行っている。本セミナーは参加者の皆様に役立つように、基礎的な知識、最新の情報、活用例など、多岐にわたる内容をお届けすることを目的に開催した。本年度は、リニューアルした東京都写真美術館にて開催した。東京都写真美術館関連の講演「東京都写真美術館における保存の歩み」、「全館改修におけるLEDスポットライトの選定と導入」、「国立国会図書館デジタルコレクション」におけるデジタル情報の長期保存の仕組みについて」の3件を含め、講演7件、参加者数102名
- 12) 第24回カメラ技術セミナー（平成28年11月17日 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟セミナーホール）デジタルカメラ各社とも精密機械、光学、電気、情報処理の融合による新たな価値提案を行っている状況の中で、若手技術者に各種技術情報を提供し、また技術者同士の交流の場の提供を目的に開催した。講演数7件、参加者数130名
- 13) 画像関連学会連合会写真学会・画像学会合同講演会（平成28年11月17日、京都工芸繊維大学60周年記念館1F記念ホール）「宇宙線イメージングで探るピラミッドの謎」、「人間の質感認識の理解と応用」の講演を実施した。
- 14) 画像関連学会連合会 第3回秋季大会（平成28年11月17日～19日、京都工芸繊維大学60周年記念館他）  
【主催】 画像関連学会連合会、【共催】 京都工芸繊維大学全体基調講演 連携企画展示（参加費無料）「時を超えた伝統の技—文化を未来に手渡すコロタイプによる文化財の複製—」（株）便利堂 山本 修 氏  
＜11/17 合同ポスターセッション＞：47件  
＜11/18 オーラルセッション＞（会場）：件数  
・日本写真学会オーラルセッション：B会場（60周年記念館大セミナー室）：20本  
・日本画像学会オーラルセッション：A会場（60周年記念館ホール）：13件  
・画像電子学会オーラルセッション：B会場：（東3棟2階K201室）：10件+特別講演3  
・日本印刷学会オーラルセッション：C会場：（東3棟1階K101室）：12件  
写真学会参加者48名、総参加者数217名
- 15) 第1回表現と技術研究会（平成28年11月28日、日本大学芸術学部）  
パネルディスカッション：「今、写真と作るとは」を行い、今後の同研究会の活動目標について議論を行った。  
参加者：14名
- 16) 第25回写真好きのための定例講演会（平成28年11月30日、富士フイルム（株）神奈川工場 小田原サイト）  
テーマ：「記録メディア生産技術と製造工程の見学」および「ブラットパネル用材料生産技術と製造工程の見学」（富士フイルム神奈川工場事務部説明員の説明と案内）  
参加者：25名17)
- 17) 第4回天体写真技術研究会（平成28年12月5日、東京工芸大学中野芸術情報館3F大会議室）  
天体写真研究会では、  
(1) デジカメなどの画像機器の内部処理について研究や開発の経験がある講演者から基本的な原理を紹介する。  
(2) 一般写真に対して有効な処理と、天体写真分野で行われている処理をデモなども交えながら比較して、両者の類似点と相違点を明確にする。  
(3) より高品位の天体写真を得るためのポイントを議論する。  
等により、より高品位の天体写真を目指すための基本的な課題（階調再現、色再現、ノイズ対策、HDR処理など）について、研究会で順番に取り上げる。  
今回テーマ：『天体写真で問題になる色再現と、デジカメの色処理との関係』

- 参加者：28名
- 18) 第50回光学五学会関西支部連合講演会（平成28年12月10日、大阪市立大学文化交流センター・ホール）  
テーマ：「生活と光 ～歴史と最新技術」として、生活する中で接する光技術の歴史や最新技術について、幅広い分野において第一線で活躍の講師から講演6本。
- 19) 第26回写真好きのための講演会（平成28年12月15日、JCIIビル2階他）  
テーマ：「秘蔵写真 伝えたかった中国・華北」展の解説と観覧  
(1) 『秘蔵写真 伝えたかった中国・華北』作品および関係資料の解説  
(2) フォロサロン作品鑑賞（会場案内・説明付き）  
(3) カメラ博物館見学の3部構成で実施した。  
参加者：16名
- 20) 第2回表現と技術研究会（平成29年1月16日、東京工芸大学中野芸術情報館3F中会議室）  
プロジェクト：『プリントの魅力とプリントを作成する楽しさを伝えること』を目的に、従来のアナログシステムで作成される最高レベルのプリントに、デジタル技術で迫ることを目指すプロジェクトの具体的作業の検討を行った。  
参加者：19名
- 21) メディカルイメージング連合フォーラム2017（平成29年1月18日、日本アイソトープ協会主催、日本写真学会共催、那覇市ぶんかテンプス館）
- 22) 日本写真学会創立90周年記念式典&日本写真学会創立90周年記念祝賀会  
（平成29年1月27日、東京工業大学イノベーションセンター1F国際会議室）  
Ⅰ. 記念式典式次第  
「90周年までの足跡とこれから100年に向けて」小林裕幸会長来賓挨拶  
(1) 来賓：戸田雄三様（富士フイルム株式会社 取締役副社長（CTO））  
(2) 来賓：義江龍一郎先生（東京工芸大学 学長）  
特別記念講演  
(1) 「偉大な先人に学びつつ、研究をすすめよう—光触媒を例にして」藤嶋昭先生（文化功労者、東京理科大学長、写真学会会員）  
(2) 『日本の経済を支えてきた広告写真について』～私の経てきた広告写真制作の現場と現状～白鳥真太郎先生（日本広告写真家協会会長、千葉大学客員教授、写真学会会員）  
90周年記念事業実施状況報告：吉田哲夫記念事業実行委員会委員長  
記念撮影  
参加者：50名  
Ⅱ. 記念祝賀会式次第  
祝辞：関連団体招待者挨拶  
(1)：田口量久様（三菱製紙株式会社副社長執行役員）  
(2)：江前敏晴先生（画像関連学会連合会議長、日本印刷学会会長、筑波大学）  
(3)：島田文生様（コニカミノルタ科学技術振興財団専務理事）  
祝辞 招待者挨拶  
(1)：上田博造様（1988-1989会長、元富士フイルム）  
(2)：大石恭史様（1994-1995会長、元富士フイルム）  
(3)：三宅洋一先生（2000-2001会長、千葉大学名誉教授、日本写真学会フェロー）  
(4)：谷忠昭様（2002-2005会長、元富士フイルム、日本写真学会フェロー）  
(5)：山本富三様（日本写真学会西部支部会員）  
参加者：54名
- 23) 原子核乾板技術研究発表会（平成29年2月15日、名古屋大学）  
原子核乾板を実際に使っている立場からみた、改良を要する技

術的課題と、今後展開させたい新規技術の展望についての発表、  
発表件数 15 件、パネルディスカッション 1 件、研究所見学 1 件、  
参加者 38 名

24) CP+2017 (平成 29 年 2 月 23 日～26 日、パシフィコ横浜)

【日本写真学会企画】

・学術団体展示コーナー (平成 29 年 2 月 23 日～26 日、パシフィ  
コ横浜展示ホール)

展示コーナー来場者 多数

【日本写真学会協力】

・CP+技術アカデミー

講演：10 件、参加者：各講演 約 60 名

25) 第 3 回表現と技術研究会 (平成 29 年 3 月 22 日、日本大学芸術  
学部)

銀塩プリントとデジタルプリントの比較実験の計画につき、  
ディスカッションを行った。

参加者：20 名

3. 研究及び調査の実施 (定款第 5 条 (3))

3-1 部会・研究会活動

各部会・研究会は、以下のような活動を行った。

【画像入出力部会】

・画像入出力研究会

今年度は研究会としての活動は無かった。

・カメラ技術研究会

7 回の研究会を開催した。第 24 回カメラ技術セミナーを企画・  
運営した。また、学会誌での特集、年次大会の運営に協力した。

・表現と技術研究会

3 回の研究会を開催し、銀塩プリントの画質をデジタルで実現す  
る方法についてディスカッションを行った。研究会は一般の人も  
参加できるよう、オープンとした。

【アンビエント画像部会】

平成 28 年度は研究会開催の都合がつかず、顔画像の見えるの改善  
に関する基礎検討を各委員が行った。

【医用画像部会】

・医用画像研究会

平成 29 年 1 月 18 日に那覇市ぶんかテンプス館にてメディカルイ  
メージング連合フォーラム 2017 (日本アイソトープ協会主催、  
日本写真学会共催) を他学会とともに開催 (共催) した。

【画像保存部会】

今年度は、年次大会および秋季大会の企画・運営に参加した。画  
像保存研究会およびデジタルアーカイブ研究会共催での平成 28  
年度画像保存セミナーを企画・運営した (平成 28 年 11 月 2 日、  
東京都写真美術館ホール、有料参加者 102 名)。

・画像保存研究会

年次大会と秋季大会および平成 28 年度画像保存セミナーの企画・  
運営に参加した。

・デジタルアーカイブ研究会

年次大会と秋季大会および平成 28 年度画像保存セミナーの企画・  
運営に参加した。

デジタルカラーマネジメントに関する勉強会を開催した (講師：  
JAGAT 郡司秀明氏)

【アンビエント技術部会】

・アンビエント技術研究会

+ アンビエント技術研究会を 1 回 (9 月 12 日 (月)、東京工芸大  
学中野キャンパス) 開催した。

【第 20 回研究会技術テーマ】 テーマと講師

(1) 「最近の有機単結晶を用いた集積デバイス」 竹谷純一先生 (東  
京大学)

(2) 「プリンタブルエレクトロニクスの標準化について」 山本典孝  
様 (産業技術総合研究所)

+ 第 5 回アンビエント技術セミナー (平成 29 年 6 月 13 日、富士  
フイルム (株) 東京ミッドタウン本社) を「ヒューマンデーバ  
イス・インターフェースの革新をめざす有機電子材料とプロセ  
スの課題」をテーマにして開催した。

・光機能性材料研究会

第 13 回光機能性材料セミナー「光機能性を活かす構造制御技術」  
を平成 28 年 6 月 20 日、東京工芸大学 中野キャンパス 芸術情報  
館 3 階大会議室にて開催 (講演 5 件、参加者数：34 名) した。

【写真文化拡大部会】

・CP+2017 の写真学会展示コーナーで、写真学会紹介、天体写真  
作品展示および「画像からくり」の機材を展示した。作品説明と  
学会活動説明を行うとともに名刺及び連絡先の記入で写真学会誌  
1 冊を無料で進呈することで学会への入会案内を積極的に行っ  
た。

・PHOTONEXT 技術アカデミー、CP+技術アカデミーの各実行  
委員会 (または担当者) を統括した。各セミナーの実績につい  
ては 2-1 参照。

・第 1 回写真好きのための講演・ワークショップとして、「ファ  
インアートプリント体験講座」を実施。デジカメによる入力から簡  
易キャリブレーション、ファインアート紙出力までの講義とワー  
クショップを、水口淳氏 (個人研究者/元ソニー)、日本大学芸  
術学部 甲田謙一先生、小澤貴也氏 (エプソン販売 (株)) が講師  
を担当。 (参加者 16 名)

【科学写真研究会】

・年次大会・秋季研究発表会での原子核乾板に関する研究発表を勧  
誘し、年次大会で関連 21 件、秋季研究発表会で関連 17 件の発表  
を行い、この分野の拡大を図った。

・原子核乾板技術研究発表会を企画し、平成 29 年 2 月 15 日、名古  
屋大学にて開催 (研究発表 15 件、パネルディスカッション 1 件、  
研究所見学 1 件、参加者数 38 人) した。

【天体写真研究会】

・研究会発足 2 年目の本年度は、天体写真の画質に関係が深い画像  
技術の原理を知って作品作りのレベルアップにつなげてもらうこ  
とを目指し、(1) デジカメの内部処理について研究・開発経験者  
からレクチャー、(2) 一般写真と天体写真の最適処理の違いをデ  
モも交えて比較、(3) より高品位の天体写真を得るためのポイント  
を参加者間で意見交換するという構成で、研究会を 3 回実施し  
た。(5 月・9 月・12 月に行い、参加者は毎回約 30 数名)

・第 2 回天体写真技術セミナー (平成 29 年 7 月 13 日) の企画検討  
を行った。

3-3 技術委員会 進歩レビュー分科会活動：「写真の進歩」作成

専門分野別の技術進歩年次レビュー「2015 年の写真の進歩」  
作成を行い、学会誌 (79 巻 3 号) に特集記事として掲載した。

4. 内外の関連学協会との連絡及び協力 (定款第 5 条 (4))

4-1 関連学協会との連絡協力による研究発表会、討論会などの実施

1) PHOTONEXT2016 技術アカデミー (平成 28 年 6 月 21 日パシ  
フィコ横浜 2F204 室：日本写真学会・写真感光材料工業会共催、  
(株) プロメディア後援、(公社) 日本写真協会、(一社) 日本  
写真文化協会、(協) 日本写真館協会、(一社) 日本写真映像用  
品工業会、日本フォトイメージング協会協力)

2) 2016 年度日本写真学会年次大会 (平成 28 年 6 月 8 日～9 日、  
東京工業大学すずかけ台元素戦略ホール他、日本画像学会年次  
大会併催)

3) 第 13 回光機能性材料セミナー (平成 28 年 6 月 20 日、東京工  
芸大中野芸術情報館大会議室、日本写真学会主催) 東京工芸大  
学共催

4) 第 53 回アイソトープ・放射線研究発表会 (平成 28 年 7 月 6～  
8 日、東京大学弥生講堂、弥生講堂アネックス、中島ホール、  
日本アイソトープ協会主催、日本写真学会他 63 学会と共催)

5) 画像関連学会連合会写真学会・画像学会合同講演会 (平成 28  
年 11 月 17 日、京都工芸繊維大学 60 周年記念館 1F 記念ホール、  
日本写真学会・日本画像学会共催) 京都工芸繊維大学共催

6) 画像関連学会連合会 第 3 回秋季大会 (平成 28 年 11 月 17 日～  
19 日、京都工芸繊維大学 60 周年記念館他京都工芸繊維大学、  
日本写真学会主催) 画像関連学会連合会主催、京都工芸繊維大  
学共催)

7) 第 50 回光学五学会関西支部連合講演会 (平成 28 年 12 月 10 日、

- 大阪市立大学文化交流センター・ホール，光学五学会関西支部主催)
- 8) メディカルイメージング連合フォーラム 2017 (平成 29 年 1 月 18 日，那覇市ぶんかテンプス館，日本アイソトープ協会主催，日本写真学会共催)
- 8) CP+ 技術アカデミー (平成 29 年 2 月 23～24 日，パシフィコ横浜：カメラ映像機器工業会主催) 日本写真学会協力
- 9) CP+ 学術団体コーナー展示 (平成 29 年 2 月 23 日～26 日，パシフィコ横浜：日本オプトメカトロニクス協会・日本光学会と共同)
5. 研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 5 条 (5))
- 5-1 平成 28 年度学会賞の授与  
授賞式において，平成 28 年度学会賞の授与を行った。学会賞受賞者は次の通りであった。
- |     |                                               |
|-----|-----------------------------------------------|
| 名誉賞 | 該当者無し                                         |
| 功績賞 | 小林和久 (三菱製紙)                                   |
| 功労賞 | 四方律夫 (セイコーエプソン)                               |
| 学術賞 | 山下清司 (富士フイルム)                                 |
| 学術賞 | 青木直和 (千葉大学大学院)                                |
| 技術賞 | 石橋友彦・齋藤輝伸 (キヤノン)                              |
| 技術賞 | 青木貴嗣・近藤茂 (富士フイルム)                             |
| 論文賞 | 山口孝子 (東京都写真技術館) 川真田敏明 (千葉大学卒) 柴史之・大川祐輔 (千葉大学) |
| 論文賞 | 津村徳道・馬場佳織 (千葉大学) 井上信一 (三菱製紙)                  |
| 進歩賞 | 今泉祥子 (千葉大学大学)                                 |
| 東陽賞 | 城野誠治 (東京文化財研究所)                               |
- 5-2 平成 28 年度コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励金 (写真研究奨励金) 授与  
授賞式において，平成 28 年度コニカミノルタ写真研究奨励金の授与を行った。  
交付対象者：中竜大・梅本篤宏 (名古屋大学)
- 5-3 平成 28 年度日本写真学会小島裕研究奨励金の授与  
授賞式において平成 28 年度日本写真学会小島裕研究奨励金の授与を行った。  
交付対象者：木村允宏・吉本雅浩 (名古屋大学)
- 5-4 平成 29 年度学会賞選考  
平成 29 年度の学会賞は，各選考委員会の推薦を受け，次のように理事会で決定した。
- |     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 名誉賞 | 該当者無し                         |
| 功績賞 | 桑山哲郎 (千葉大学)                   |
| 功労賞 | 山口孝子 (東京都写真美術館)，井上義之 (パナソニック) |
| 学術賞 | 山田勝実 (東京工芸大学)                 |
| 技術賞 | 小出淳史 (タムロン)                   |
| 論文賞 | 渡部隆夫・森重喜・峰利之・新谷俊通 (日立製作所)     |
| 論文賞 | 白石幸英・神崎天心・浅野比 (山口東京理科大学)      |
| 進歩賞 | 該当無し                          |
| 東陽賞 | 原直久 (日本大学芸術学部)                |
- 会長表彰 該当無し
- 5-5 平成 29 年度コニカミノルタ科学技術振興財団写真研究奨励金  
交付対象者の選考  
平成 29 年度コニカミノルタ科学技術振興財団写真研究奨励金は，選考委員会の推薦を受け，次のように理事会で決定した。  
交付対象者 木村 充宏 (名古屋陽子線治療センター)
- 5-6 平成 29 年度日本写真学会小島裕研究奨励金交付対象者の選考  
平成 29 年度日本写真学会小島裕研究奨励金は，選考委員会の推薦を受け，次のように理事会で決定した。  
交付対象者 大川祐輔 (千葉大学)，茂手木秀行 (茂手木秀行写真事務所)・水口淳 (個人研究者)
6. その他目的を達するために必要な事項 (定款第 5 条 (6))
- 6-1 総会 (1 回)  
平成 28 年 6 月 9 日 (木) 東京工業大学すずかけ台 元素戦略セ

- ンター・レクチャーホールにおいて一般社団法人化に移行後 5 回目の定時社員総会が開催され，平成 27 年度事業報告，平成 27 年度決算報告並びに会計監査報告，平成 28 年度事業計画案，平成 28 年度収支予算案，平成 28 年度役員等の選任 (壇上臨時理事会による会長・副会長選任の報告含む)，会員の除名の計 7 件の議案が承認された。
- 6-2 理事会 (7 回)  
隔月定例に開催し，本学会の運営に必要な事項を審議した。
- 1) 会務分担  
役員及び会務の分担は次の通りであった。
- ・理事：  
会長・「写真好き」のための定例講演会実行委員長・画像関連学会連合会代議員  
小林裕幸 (千葉大学)
  - 副会長 (技術)・技術委員長・90 周年記念事業企画委員長・画像関連学会連合会代議員 吉田哲夫 (富士フイルム)
  - 副会長 (企画・総務)・総務理事・医用画像部会長・拡大 PT 委員長・画像関連学会連合会代議員 中野 寧 (コニカミノルタ)
  - 西部支部長・画像関連学会連合会秋季合同大会実行委員長 岩崎仁 (京都工芸繊維大学)
  - 庶務委員長・進歩レビュー分科会主査 吉田英明 (オリンパス)
  - 財務委員長 甲田謙一 (日本大学)
  - 編集委員長 山田勝実 (東京工芸大学)
  - 広報委員長 桑山哲郎 (キヤノン)
  - アンビエント技術部会長 半那純一 (東京工業大学)
  - 画像保存部会 大関勝久 (東京国立近代美術館フィルムセンター)
  - 写真文化拡大部会長・写真好きのためのワークショップ 西澤敦 (セイコーエプソン)
  - 画像入出力部会委員・CP+/PHOTONEXT セミナー特命 鈴木博文 (ニコン)
  - 副庶務委員長・写真文化拡大副部会長・カメラ技術研究会 井上義之 (パナソニック)
  - 副総務理事・カメラ技術研究会 松澤良紀 (オリンパス)
  - 新規プリンティング技術分野特命 郡司秀明 (日本印刷技術協会)
  - 年次大会/秋季大会プログラム委員長・副編集委員長 久下謙一 (千葉大学)
  - ・幹事：  
広報副委員長 匠瑳俊雄 (ニコン)
  - 画像入出力部会長 豊田堅二 (日本大学)
  - 画像保存部会・研究会 高橋則英 (日本大学)
  - アンビエント画像部会長 津村徳道 (千葉大学)
  - 医用画像副部会長 桑原孝夫 (富士フイルム)
  - 医用画像研究会 松本政雄 (大阪大学)
  - アンビエント技術研究会副主査・光機能性材料研究会 稲垣由夫 (富士フイルム)
  - アンビエント技術研究会副主査 飯野裕明 (東京工業大学)
  - アンビエント技術研究会副主査 宮本公明 (富士フイルム)
  - アンビエント技術研究会・光機能性材料研究会 内田孝幸 (東京工芸大学)
  - 写真文化拡大部会・画像入出力部会 大川泰輔 (セイコーエプソン)
  - 画像保存部会副委員長・画像保存セミナー実行委員 山口孝子 (東京写真美術館)
  - ・監事：  
高田俊二 (千葉大学)
  - 豊田堅二 (日本大学)
  - ・事務局長 (兼) 会勢拡大委員長 山岸 治
- 2) 役員研修会 (8 月)  
会長以下の役員が研修会を開催し，本学会の会勢拡大の具体的な進め方について議論した。

平成 28 年 8 月 23 日（火）三菱製紙株式会社 本社 11 階会議室  
役員研修課題：

- (1) 平成 28 年度日本写真学会 基本方針と会勢拡大策
- (2) 入会者の分野別分類と会勢拡大策
- (3) 平成 28 年度日本写真学会役員（理事・監事・幹事）役割体制
- (4) 90 周年記念事業内容と画像関連学会連合会と写真学会の今後の目指す姿について研修を行った。

#### 6-3 支部の運営に関する会議

- 1) 西部支部幹事会  
幹事会を開催し、講演会、見学会などの企画、準備および支部運営に関する協議を行った。

#### 6-4 各委員会

- 1) 役員等選考委員会  
役員等の選考を行った。
- 2) 人事委員会  
学会職員の勤務状況と処遇についての協議を行い、来年度の処遇を決定した。
- 3) 庶務委員会  
平成 27 年度事業報告並びに平成 28 年度事業計画案の総会承認を得た。活動計画表、組織系統図を更新した。平成 28 年度事業報告案並びに平成 29 年度事業計画案を作成し、理事会承認を得た。
- 4) 財務委員会（2 回）  
平成 27 年度決算報告並びに平成 28 年度予算案の総会承認を得た。平成 28 年度中間決算内容を審議し承認した。学会各事業活動の改善状況、特に財務改善の検討を行った。平成 28 年度決算報告並びに平成 29 年度予算案を作成し、理事会承認を得た。
- 5) 編集委員会（4 回）  
学会誌の編集方針、特集記事の企画検討、「解説」、「口絵」、「写真のある美術館・博物館・資料館」などの著者選定を行った。投稿論文の勧誘を行い、掲載論文数の増加を図った。英文論文誌 BSPJ (BULLETIN OF THE SOCIETY OF PHOTOGRAPHY AND IMAGING OF JAPAN) を Web 版として発行した。
- 6) 技術委員会  
研究会活動の活性化推進を目的に部会長・研究会主査会議を実施した。各部会・研究会の課題について討議し、活性化のための具体的な活動に展開中。傘下の進歩レビュー分科会が日本写真学会誌「2015 年の写真の進歩」を担当。
- 7) 企画実行委員会  
企画担当副会長が、代表理事会にて新規事業の企画ならび実行を検討し、今年度は、科学写真技術研究会の再編を行った。
- 8) 国際交流委員会  
画像関連学会連合会代議員会で、画像電子学会・日本印刷学会・日本画像学会と共催で、合同年次大会内で、国際会議デいの開催を 2018 年度から実施に向けて検討を開始した。
- 9) 広報委員会  
ホームページのタイムリーな更新と新たな運用を行うことにより、会員への情報提供サービス向上を図って来た。「画像関連学会連合会」の活動の活発化と連動し、日本写真学会のトップページ「最新イベント情報」に協賛イベントをすべて掲載することで、画像関連の学会の活動の全容が見えるようにし、さらにトップページの「更新情報」では、日本写真学会がこれから開催するイベントを最上部に簡潔に記載し、空白スペースの後にその他の更新情報を掲載することで、参加受け付け中のイベントに対する注目度を高めている。またバナーを活用して日本写真学会の創立 90 周年を広報した。「写真のある美術館・博物館・資料館」の企画に連動し、開催中あるいは開催予定のイベント広報ページを pdf ファイルで作成、リンク先の Web サイトにアクセスできるというサービスも実施している。学会誌刊行に同期し「画像からくり」の内容のカラー図版を都度ホームページ上で公開した。

英文論文誌の年 2 回の発行は、英文論文の pdf ファイルと、pdf ファイルによる暫定版の英文論文誌トップページを開催することで行っている。

「CP+2017」では、天体写真技術研究会のメンバーによる作品展示と、日本写真学会の活動紹介のパネル展示を行った。また、「画像からくり」で取り上げた内容を紹介する資料を展示、ペーパークラフトと日本写真学会誌を希望者に無償提供した。日本写真学会のホームページ改革推進委員会では、委員会の中心メンバーを選定、作業ターゲットを絞り検討作業を進めている。

#### 10) 会勢拡大委員会

「写真好きのための定例講演会」、「天体写真技術研究会」等の写真学会会員限定の講演会・研究会への参加募集、新規に立ち上げた「写真好きのためのワークショップ」、「科学技術研究会—原子核乾板技術研究発表会」での入会勧誘および他のセミナー等のイベントでの入会キャンペーンや通して、会員外の写真愛好者や関連業界従事者に対して本学会入会への勧誘・啓蒙活動を行った。

#### 6-5 各担当

- 1) 画像関連学会連合会  
画像関連学会連合会代議員に代表理事 3 名（小林会長、吉田副会長、中野副会長）および山岸事務局長が参画して、画像関連連合会合同秋季大会、画像関連連合会合同年次大会、画像関連連合会技術者意識アンケート調査およびその他の連合会課題に関して、討議を行い、理事会承認の元に、連合活動を推進した。
- 2) 画像関連学会連合会：3D タスクフォース活動  
画像関連学会連合会の分科活動として「3D プリンティング」に関する調査・検討活動を継続している。  
（担当：桑山理事）
- 3) 科学技術振興機構  
科学技術振興機構による学会誌の電子アーカイブ事業に基づいて、昨年度に引き続き、科学技術振興機構と共同で日本写真学会誌の電子化を行った。
- 4) 日本写真学会 90 周年記念事業  
以下の記念事業を行った。
- (1) 2016 年度日本写真学会年次大会 90 周年記念講演および記念特別展示  
日時：2016 年 6 月 8 日～6 月 9 日  
場所：東京工業大学すずかけ台キャンパス  
内容－1：日本写真学会 90 周年記念講演  
（1）アンビエント技術—現状と今後— 半那純一（アンビエント技術部会長、東工大）  
（2）画像・映像そして文化のアーカイブ 大関勝久（画像保存部会長、東京国立近代美術館フィルムセンター）  
（3）カメラの過去・現在・そして未来 豊田堅二（画像入出力部会長、日本大学）  
内容－2：日本写真学会 90 周年記念展示  
参加者：97 名
- (2) 日本写真学会創立 90 周年記念式典  
日時：平成 29 年 1 月 27 日  
会場：東京工業大学イノベーションセンター 1F 国際会議室  
内容－1：「90 周年までの足跡とこれから 100 年に向けて」小林裕幸会長  
内容－2：来賓挨拶  
（1）来賓：戸田雄三様（富士フイルム株式会社 取締役副社長（CTO））  
（2）来賓：義江龍一郎先生（東京工芸大学 学長）  
内容－3：特別記念講演  
（1）「偉大な先人に学びつつ、研究をすすめよう—光触媒を例にして」藤嶋昭先生（文化功労者、東京理科大学長）  
（2）『日本の経済を支えてきた広告写真について』～私の経てきた広告写真制作の現場と現状～ 白鳥真太郎先生（日本広告写真家協会会長）

参加者：50 名

(3) 日本写真学会創立 90 周年記念祝賀会

祝辞：関連団体招待者挨拶

- (1)：田口量久様（三菱製紙株式会社副社長執行役員）
- (2)：江前敏晴先生（画像関連学会連合会議長，日本印刷学会会長，筑波大学）
- (3)：島田文生様（コニカミノルタ科学技術振興財団専務理事）

祝辞 招待者挨拶

- (1)：上田博造様（1988-1989 会長，元富士フイルム）
- (2)：大石恭史様（1994-1995 会長，元富士フイルム）
- (3)：三宅洋一先生（2000-2001 会長，千葉大学名誉教授，日本写真学会フェロー）
- (4)：谷忠昭様（2002-2005 会長，元富士フイルム，日本写真学会フェロー）
- (5)：山本富三様（日本写真学会西部支部会員）

参加者：54 名

(4) 日本写真学会創立 90 周年寄付事業

平成 28 年 6 月より，創立 90 周年寄付事業を実施し，現在まで個人会員 87 名，企業・団体 10 団体より，頂きました。学会誌 80 巻 2 号にご芳名を掲載の予定。

(5) 創立 90 周年記念学会誌刊行事業

学会誌 79 巻 4 号にて日本写真学会創立 90 周年記念特集記事を企画実施した。

学会誌 80 巻 2 号にて日本写真学会創立 90 周年記念特集記事第 2 報を企画を行う。

(6) 創立 90 周年記念ホームページ改革

ホームページ改革推進ワーキンググループを組織し，会員への情報受発信の充実の為

ホームページ改革に取り組み中。

7. 会勢

本年度末（平成 29 年 3 月 31 日現在）における会員の異動状況は，次の通りである。

|       | 本年度末<br>(平成29年3月31日現在) | 前年度末<br>(平成28年3月31日現在) | 増減    |
|-------|------------------------|------------------------|-------|
| 正 会 員 | 729 名                  | 768 名                  | 39 名減 |
| 賛助会員  | 37 社                   | 41 社                   | 4 社増  |
| 合 計   | 766 名                  | 809 名                  | 43 名減 |

以上

決算報告書

自 平成28年 4月 1日  
至 平成29年 3月31日

一般社団法人 日本写真学会  
東京都中野区本町 2-9-5  
(東京工芸大学内)

貸借対照表  
平成29年 3月31日現在

| 科 目                     |  |  |  | 当年度          | 前年度          | 増 減         |
|-------------------------|--|--|--|--------------|--------------|-------------|
| Ⅰ 資産の部                  |  |  |  |              |              |             |
| 1. 流動資産                 |  |  |  |              |              |             |
| 現金預金                    |  |  |  | 7,250,219    | 2,128,280    | 5,121,939   |
| 未 収 会 費                 |  |  |  | 1,992,750    | 1,641,500    | 351,250     |
| 未 収 金                   |  |  |  | 268,410      | 406,600      | △ 138,190   |
| 前 払 金                   |  |  |  | 0            | 111,000      | △ 111,000   |
| 立 替 金                   |  |  |  | 33,990       | 0            | 33,990      |
| 流動資産合計                  |  |  |  | 9,545,369    | 4,287,380    | 5,257,989   |
| 2. 固定資産                 |  |  |  |              |              |             |
| (1) 基本財産                |  |  |  |              |              |             |
| 定 期 預 金                 |  |  |  | 27,000,000   | 27,000,000   | 0           |
| 基本財産合計                  |  |  |  | 27,000,000   | 27,000,000   | 0           |
| (2) 特定資産                |  |  |  |              |              |             |
| 普 通 預 金                 |  |  |  | 4,504,999    | 5,507,737    | △ 1,002,738 |
| 特定資産合計                  |  |  |  | 4,504,999    | 5,507,737    | △ 1,002,738 |
| (3) その他固定資産             |  |  |  |              |              |             |
| 電 話 加 入 権               |  |  |  | 74,984       | 74,984       | 0           |
| イ ベ ン ト 欄 登 録 プ ロ グ ラ ム |  |  |  | 0            | 21,000       | △ 21,000    |
| その他固定資産合計               |  |  |  | 74,984       | 95,984       | △ 21,000    |
| 固定資産合計                  |  |  |  | 31,579,983   | 32,603,721   | △ 1,023,738 |
| 資産合計                    |  |  |  | 41,125,352   | 36,891,101   | 4,234,251   |
| Ⅱ 負債の部                  |  |  |  |              |              |             |
| 1. 流動負債                 |  |  |  |              |              |             |
| 未 払 金                   |  |  |  | 85,217       | 105,294      | △ 20,077    |
| 前 受 金                   |  |  |  | 3,634,100    | 610,500      | 3,023,600   |
| 預 り 金                   |  |  |  | 82,197       | 35,094       | 47,103      |
| 流動負債合計                  |  |  |  | 3,801,514    | 750,888      | 3,050,626   |
| 負債合計                    |  |  |  | 3,801,514    | 750,888      | 3,050,626   |
| Ⅲ 正味財産の部                |  |  |  |              |              |             |
| 1. 指定正味財産               |  |  |  |              |              |             |
| 指定正味財産合計                |  |  |  | 0            | 0            | 0           |
| (うち特定資産への充当額)           |  |  |  | ( 8,010,414) | ( 8,010,414) | ( 0)        |
| 2. 一般正味財産               |  |  |  |              |              |             |
| (うち基本財産への充当額)           |  |  |  | 37,323,838   | 36,140,213   | 1,183,625   |
| 正味財産合計                  |  |  |  | 37,323,838   | 36,140,213   | 1,183,625   |
| 負債及び正味財産合計              |  |  |  | 41,125,352   | 36,891,101   | 4,234,251   |

正味財産増減計算書  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

| 科 目          |               | 当年度          | 前年度          | 増 減 |
|--------------|---------------|--------------|--------------|-----|
| Ⅰ 一般正味財産増減の部 |               |              |              |     |
| 1. 経常増減の部    |               |              |              |     |
| (1) 経常収益     |               |              |              |     |
| 基本財産運用益      | [ 1,052]      | [ 10,602]    | [ △ 9,550]   |     |
| 基本財産受取利息     | 1,052         | 10,602       | △ 9,550      |     |
| 正会員受取会費      | [ 10,141,000] | [ 9,580,250] | [ 560,750]   |     |
| 賛助会員受取会費     | 5,373,000     | 4,727,250    | 645,750      |     |
| 事業収益         | 4,768,000     | 4,853,000    | △ 85,000     |     |
| 講演・研究事業収入    | [ 3,367,623]  | [ 3,042,300] | [ 325,323]   |     |
| 講演・研究事業収入    | 3,367,623     | 3,042,300    | 325,323      |     |
| 受取寄付金        | [ 1,788,000]  | [ 624,000]   | [ 1,164,000] |     |
| 受取寄付金        | 1,788,000     | 624,000      | 1,164,000    |     |
| 雑収益          | [ 1,111,831]  | [ 1,178,787] | [ △ 66,956]  |     |
| 受取利息         | 6,115         | 3,177        | 2,938        |     |
| 広告費          | 410,400       | 291,600      | 118,800      |     |
| 別刷・投稿料代      | 231,120       | 228,528      | 2,592        |     |
| 雑収益          | 464,196       | 655,482      | △ 191,286    |     |
| 経常収益計        | 16,409,506    | 14,435,939   | 1,973,567    |     |
| (2) 経常費用     |               |              |              |     |
| 事業費          | [ 7,252,414]  | [ 6,126,131] | [ 1,126,283] |     |
| 学会誌等刊行事業費    | ( 2,660,374)  | ( 2,600,026) | ( 60,348)    |     |
| 学会誌発行送費      | 225,554       | 440,581      | △ 215,027    |     |
| 印刷製本費        | 2,341,349     | 2,069,936    | 271,413      |     |
| 雑査校正費        | 66,971        | 89,509       | △ 22,538     |     |
| 講演研究事業費(1)   | 26,500        | 0            | 26,500       |     |
| 講演研究事業費(1)   | ( 1,944,842)  | ( 2,062,789) | (△ 117,947)  |     |
| 給料手当         | 172,000       | 136,000      | 36,000       |     |
| 旅費交通費        | 26,900        | 114,000      | △ 87,100     |     |
| 会場費          | 173,204       | 115,872      | 57,332       |     |
| 通信運搬費        | 19,908        | 10,184       | 9,724        |     |
| 通信費          | 219,000       | 128,240      | 90,760       |     |
| 消耗品費         | 1,836         | 2,699        | △ 863        |     |
| 諸謝金          | 311,830       | 527,889      | △ 216,059    |     |
| 印刷製本費        | 322,104       | 282,532      | 39,572       |     |
| 雑費           | 34,900        | 315,633      | △ 280,733    |     |
| 参加者会合費       | 663,160       | 429,740      | 233,420      |     |
| 講演研究事業費(2)   | ( 623,869)    | ( 32,400)    | ( 591,469)   |     |
| 給料           | 21,000        | 0            | 21,000       |     |
| 参加会合費        | 168,091       | 0            | 168,091      |     |
| 旅費交通費        | 77,752        | 0            | 77,752       |     |
| 会場費          | 66,054        | 0            | 66,054       |     |
| 通信運搬費        | 12,726        | 0            | 12,726       |     |
| 通信費          | 13,640        | 0            | 13,640       |     |
| 消費消耗品費       | 14,825        | 0            | 14,825       |     |
| 諸謝金          | 55,685        | 0            | 55,685       |     |
| 印刷製本費        | 165,564       | 0            | 165,564      |     |
| 雑費           | 28,532        | 32,400       | △ 3,868      |     |
| 奨励助成事業金      | ( 1,624,139)  | ( 982,508)   | ( 641,631)   |     |
| 奨励助成事業金      | 1,624,139     | 982,508      | 641,631      |     |
| 給料手当         | 312,247       | 276,548      | 35,699       |     |
| 旅費交通費        | 47,106        | 38,979       | 8,127        |     |
| 租税公課         | 64            | 64           | 0            |     |
| 福利厚生費        | 39,773        | 49,215       | △ 9,442      |     |

| 科 目               |              | 当年度          | 前年度         | 増 減      |
|-------------------|--------------|--------------|-------------|----------|
| 諸謝金               |              | 0            | 83,602      | △ 83,602 |
| 管 理 費             | [ 7,973,467] | [ 8,113,642] | [△ 140,175] |          |
| 給 料               | ( 4,418,777) | ( 3,913,564) | ( 505,213)  |          |
| 事 務 員 給 料         | 3,271,008    | 3,695,709    | △ 424,701   |          |
| 臨 時 雇 用           | 1,147,769    | 217,855      | 929,914     |          |
| 会 費               | 144,500      | 115,000      | 29,500      |          |
| 旅 費               | ( 732,324)   | ( 626,943)   | ( 105,381)  |          |
| 事 務 員 交 通 費       | 666,631      | 598,689      | 67,942      |          |
| 役 員 交 通 費         | 65,693       | 28,254       | 37,439      |          |
| 減 価 償 却 費         | 21,000       | 40,250       | △ 19,250    |          |
| 通 信 搬 送 費         | 709,731      | 434,141      | 275,590     |          |
| 租 税 公 課           | 71,654       | 73,576       | △ 1,922     |          |
| 消 耗 品 費           | 215,227      | 125,760      | 89,467      |          |
| 福 利 厚 生 費         | ( 562,860)   | ( 667,091)   | (△ 104,231) |          |
| 法 定 福 利 費         | 562,860      | 667,091      | △ 104,231   |          |
| 貸 付 借 料 金         | 127,332      | 123,120      | 4,212       |          |
| 諸 事 務 所 維 持 管 理 費 | 615,600      | 1,701,498    | △ 1,085,898 |          |
| 雑 費               | 200,000      | 200,000      | 0           |          |
| 雑 費               | 154,462      | 92,699       | 61,763      |          |
| 経常費用計             | 15,225,881   | 14,239,773   | 986,108     |          |
| 評価損益等調整前当期経常増減額   | 1,183,625    | 196,166      | 987,459     |          |
| 評価損益等計            | 0            | 0            | 0           |          |
| 当期経常増減額           | 1,183,625    | 196,166      | 987,459     |          |
| 2. 経常外増減の部        |              |              |             |          |
| (1) 経常外収益         |              |              |             |          |
| 経常外収益計            | 0            | 0            | 0           |          |
| (2) 経常外費用         |              |              |             |          |
| 経常外費用計            | 0            | 0            | 0           |          |
| 当期経常外増減額          | 0            | 0            | 0           |          |
| 当期一般正味財産増減額       | 1,183,625    | 196,166      | 987,459     |          |
| 一般正味財産期首残高        | 36,140,213   | 35,944,047   | 196,166     |          |
| 一般正味財産期末残高        | 37,323,838   | 36,140,213   | 1,183,625   |          |
| Ⅱ 指定正味財産増減の部      |              |              |             |          |
| 当期指定正味財産増減額       | 0            | 0            | 0           |          |
| 指定正味財産期首残高        | 0            | 0            | 0           |          |
| 指定正味財産期末残高        | 0            | 0            | 0           |          |
| Ⅲ 正味財産期末残高        |              |              |             |          |
| 正味財産期末残高          | 37,323,838   | 36,140,213   | 1,183,625   |          |

**予算対比正味財産増減計算書**  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

| 科 目                 |               | (単位:円)        |               |     |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|-----|
|                     |               | 予算額           | 決算額           | 差 異 |
| <b>I 一般正味財産増減の部</b> |               |               |               |     |
| 1. 経常増減の部           |               |               |               |     |
| (1) 経常収益            |               |               |               |     |
| 基本財産運用益             | [ 3,594]      | [ 1,052]      | [ 2,542]      |     |
| 基本財産受取利息            | 3,594         | 1,052         | 2,542         |     |
| 受取会員受取会費            | [ 10,120,000] | [ 10,141,000] | [△ 21,000]    |     |
| 正会員受取会費             | 5,640,000     | 5,373,000     | 267,000       |     |
| 賛助会員受取会費            | 4,480,000     | 4,768,000     | △ 288,000     |     |
| 事業収益                | [ 5,315,000]  | [ 3,367,623]  | [ 1,947,377]  |     |
| 講演・研究事業収入           | 5,315,000     | 3,367,623     | 1,947,377     |     |
| 受取寄付金               | [ 600,000]    | [ 1,788,000]  | [△ 1,188,000] |     |
| 受取寄付金               | 600,000       | 1,788,000     | △ 1,188,000   |     |
| 雑収利益                | [ 2,118,546]  | [ 1,111,831]  | [ 1,006,715]  |     |
| 受取利息                | 8,540         | 6,115         | 2,425         |     |
| 広報・投稿料費             | 409,500       | 410,400       | △ 900         |     |
| 別刷・投稿料益             | 1,090,740     | 231,120       | 859,620       |     |
| 雑収                  | 609,766       | 464,196       | 145,570       |     |
| 経常収益計               | 18,157,140    | 16,409,506    | 1,747,634     |     |
| (2) 経常費用            |               |               |               |     |
| 事業費                 | [ 9,033,000]  | [ 7,252,414]  | [ 1,780,586]  |     |
| 学会誌等刊行事業費           | ( 3,680,000)  | ( 2,660,374)  | ( 1,019,626)  |     |
| 学会誌発行送費             | 350,000       | 225,554       | 124,446       |     |
| 印刷製本費               | 3,000,000     | 2,341,349     | 658,651       |     |
| 原稿費                 | 0             | 66,971        | △ 66,971      |     |
| 編集費                 | 60,000        | 0             | 60,000        |     |
| J - S T A G E編集費    | 250,000       | 0             | 250,000       |     |
| 審査校正料               | 20,000        | 26,500        | △ 6,500       |     |
| 講演研究事業費(1)          | ( 3,003,000)  | ( 1,944,842)  | ( 1,058,158)  |     |
| 給料手当                | 393,000       | 172,000       | 221,000       |     |
| 旅費交通費               | 350,500       | 26,900        | 323,600       |     |
| 会場費                 | 243,000       | 173,204       | 69,796        |     |
| 通信運搬費               | 33,500        | 19,908        | 13,592        |     |
| 会議費                 | 98,000        | 219,000       | △ 121,000     |     |
| 消耗品費                | 0             | 1,836         | △ 1,836       |     |
| 諸謝金                 | 722,500       | 311,830       | 410,670       |     |
| 印刷製本費               | 553,500       | 322,104       | 231,396       |     |
| 雑費                  | 37,500        | 34,900        | 2,600         |     |
| 参加者会合費              | 571,500       | 663,160       | △ 91,660      |     |
| 講演研究事業費(2)          | ( 800,000)    | ( 623,869)    | ( 176,131)    |     |
| 給料                  | 0             | 21,000        | △ 21,000      |     |
| 参加会合費               | 0             | 168,091       | △ 168,091     |     |
| 旅費交通費               | 150,000       | 77,752        | 72,248        |     |
| 会場費                 | 120,000       | 66,054        | 53,946        |     |
| 通信運搬費               | 100,000       | 12,726        | 87,274        |     |
| 会議費                 | 30,000        | 13,640        | 16,360        |     |
| 消耗品費                | 5,000         | 14,825        | △ 9,825       |     |
| 諸謝金                 | 75,000        | 55,685        | 19,315        |     |
| 印刷製本費               | 200,000       | 165,564       | 34,436        |     |
| 雑費                  | 120,000       | 28,532        | 91,468        |     |
| 奨励助成事業              | ( 1,550,000)  | ( 1,624,139)  | (△ 74,139)    |     |
| 奨励助成金               | 1,550,000     | 1,624,139     | △ 74,139      |     |
| 給料                  | 0             | 312,247       | △ 312,247     |     |
| 旅費交通費               | 0             | 47,106        | △ 47,106      |     |

平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

一般社団法人 日本写真学会

会長 小林 裕幸 殿

私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 26 年度事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律 1 2 7 条第 2 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 1 25 条第 1 項（一般社団法人に及び一般財団法人に関する法律 1 9 9 条において準用する同法第 1 25 条第 1 項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第 4 3 条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査意見

当法人の公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。

平成 29 年 4 月 27 日

監事 高田 俊二 

監事 豊田 堅二 

| 科 目             |              | 予算額          | 決算額          | 差 異 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|-----|
| 租税公課            | 0            | 64           | △ 64         |     |
| 福利厚生費           | 0            | 39,773       | △ 39,773     |     |
| 管理費             | [ 8,606,993] | [ 7,973,467] | [ 633,526]   |     |
| 給料              | ( 4,753,264) | ( 4,418,777) | ( 334,487)   |     |
| 事務員給料           | 3,553,264    | 3,271,008    | 282,256      |     |
| 臨時雇用手賃金         | 1,200,000    | 1,147,769    | 52,231       |     |
| 会費負担金           | 303,000      | 144,500      | 158,500      |     |
| 旅費交通費           | ( 760,400)   | ( 732,324)   | ( 28,076)    |     |
| 事務員交通費          | 560,400      | 666,631      | △ 106,231    |     |
| 役員交通費           | 200,000      | 65,693       | 134,307      |     |
| 減価償却費           | 52,500       | 21,000       | 31,500       |     |
| 通信運搬費           | 350,000      | 709,731      | △ 359,731    |     |
| 租税公課            | 72,000       | 71,654       | 346          |     |
| 消耗品費            | 100,000      | 215,227      | △ 115,227    |     |
| 福利厚生費           | ( 744,349)   | ( 562,860)   | ( 181,489)   |     |
| 法定福利費           | 744,349      | 562,860      | 181,489      |     |
| 賃借料             | 123,480      | 127,332      | △ 3,852      |     |
| 諸謝金             | 647,000      | 615,600      | 31,400       |     |
| 印刷製本費           | 351,000      | 0            | 351,000      |     |
| 事務所維持管理費        | 200,000      | 200,000      | 0            |     |
| 雑費              | 150,000      | 154,462      | △ 4,462      |     |
| 経常費用計           | 17,639,993   | 15,225,881   | 2,414,112    |     |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 517,147      | 1,183,625    | △ 666,478    |     |
| 評価損益等計          | 0            | 0            | 0            |     |
| 当期経常増減額         | 517,147      | 1,183,625    | △ 666,478    |     |
| 2. 経常外増減の部      |              |              |              |     |
| (1) 経常外収益       |              |              |              |     |
| 経常外収益計          |              | 0            | 0            | 0   |
| (2) 経常外費用       |              |              |              |     |
| 経常外費用計          |              | 0            | 0            | 0   |
| 当期経常外増減額        |              | 0            | 0            | 0   |
| 当期一般正味財産増減額     | 517,147      | 1,183,625    | △ 666,478    |     |
| 一般正味財産期首残高      | 0            | 36,140,213   | △ 36,140,213 |     |
| 一般正味財産期末残高      | 517,147      | 37,323,838   | △ 36,806,691 |     |
| II 指定正味財産増減の部   |              |              |              |     |
| 当期指定正味財産増減額     |              | 0            | 0            | 0   |
| 指定正味財産期首残高      |              | 0            | 0            | 0   |
| 指定正味財産期末残高      |              | 0            | 0            | 0   |
| III 正味財産期末残高    | 517,147      | 37,323,838   | △ 36,806,691 |     |

### 【第3号議案】平成29年度事業計画

#### 1. 基本方針（定款第4条）

- 1) 事業収支改善のために研究講演事業、学会誌刊行事業、法人管理事業の確実な遂行により回復基調を継続的に実施できる事業計画の立案を行う。
- 2) 写真に関する基盤技術の深耕と基盤技術から更に次世代の画像情報分野への領域拡大と写真文化の裾野拡大の為に、①高度情報通信社会に適合する次世代の画像映像情報分野の技術としてのアンビエント技術部会、アンビエント画像部会、②デジタルも含めた画像保存部会及び最新の医用分野での医用画像部会、③写真産業を支える画像情報技術としての画像入出力部会と写真文化の裾野を拡大する施策と活動の写真文化拡大部会の6部会活動の活性化と新規発足の天体写真技術研究会、科学写真研究会の活性化および部会・研究会活動を通じた会員拡大を行う。これらの技部会活動推進の為、年次大会・研究会・セミナー・学会誌刊行・電子広報の充実及び画像関連学会連合会での所属学会との連携強化と関連する工業会・協会との連携強化を目指す。
- 3) 写真及び画像に関する技術領域を拡大し、研究成果の発表及び関連情報提供の為、写真学会誌の充実と学術図書の刊行を行う。
- 4) 会員へのサービスを第一義としながら社会公益性の観点からも学会の運営を行う。

以下のことを特に本年度の重要課題として位置付け、行動する。

- ①画像入出力部会、アンビエント画像部会、医用画像部会、画像保存部会、アンビエント技術部会、写真文化拡大部会の6つに再編された技術部会と各研究会とセミナー等の実行委員会を組織化して、調査・研究の充実化を図る。
- ②画像関連学会連合会合同秋季大会の実施と次年度合同年次大会の企画を行う。
- ③各技術部会での新規技術領域の調査・研究の充実化を図る。
- ④写真好きの写真愛好者を対象にした、写真知識・写真文化の会勢拡大を図る。
- ⑤学会誌の充実の為、英文論文誌の発行及び投稿数の拡大を図る。
- ⑥学会広報体制の強化と学会情報の活発な発信を図る。

#### 2. 学会誌・学術図書及び資料の刊行（定款第5条（1））

##### 2-1 学会誌の刊行

- 1) 学会誌を年間4冊発行する。
- 2) 年次大会や秋季研究報告会の要旨集を学会誌に掲載し発行する。
- 3) 論文投稿を積極的に勧誘し、親切な審査により質の高い論文を数多く掲載する。あわせて投稿料収入の増加を図る。

##### 2-2 英文論文誌「Bulletin of the Society of Photography and Imaging of Japan」の刊行

- 1) 6,12月発行予定の英文の論文誌をweb誌として発行し、論文の投稿を積極的に呼びかける。
- 2) 英文誌に掲載された論文の題目や著者を分野別に整理した上で、画像4学会の会員に電子メールでお知らせする。

#### 3. 研究発表会及び学術講演会等の開催（定款第5条（2））

##### 3-1 研究発表会、講演会などの実施

- 1) プリント技術セミナー（平成29年5月、印刷技術協会）
- 2) 第27回写真好きのための定例講演会（平成29年6月、JCII フォトサロン）
- 3) アンビエント技術セミナー（平成29年6月13日、富士フィルム本社）
- 4) PHOTONEXT 技術アカデミー（平成29年6月20日、パシフィコ横浜）
- 5) 第1回画像関連学会連合会合同年次大会（平成29年6月20日—21日、一橋講堂）
- 6) 第2回天体写真セミナー（平成29年7月13日、富士フィルム本社）
- 7) 第14回光機能性材料セミナー（平成29年8月30日、富士フィルム本社）

- 8) 第25回カメラ技術セミナー（平成29年10月25日、国立オリンピック記念青少年センター）
- 9) 平成29年度画像保存セミナー（平成29年11月1日、東京都写真美術館）
- 10) 画像関連学会連合会第4回合同秋季大会（平成29年11月30日—12月2日、京都工芸繊維大学）
- 11) CP+2018 学会展示・セミナー協力（平成30年3月1日～4日、パシフィコ横浜）
- 12) 西部支部主管行事（詳細未定）
- 13) 第51回光学五学会関西支部連合講演会（詳細未定）
- 14) 「写真好き」のための定例講演会（平成29年4回予定、詳細未定）
- 15) 「写真好き」のためのワークショップ（平成29年、詳細未定）
- 16) 科学写真研究会セミナー（平成29年、詳細未定）
- 17) 第2回原子核乾板技術研究発表会（平成29年、詳細未定）

##### 3-2 新規事業

6技術部会を基本に、特に写真文化拡大部会での写真文化の拡大・写真好きの層への会員拡大のために「写真好き」のための定例講演会の定期開催と「写真好き」の為のワークショップの開催や、カメラ映像工業会との協力体制強化でCP+2017、感材工業会との共催でのPHOTONEXT 技術アカデミー等での学会企画イベントを拡大、昨年立上げの天体写真技術研究会活動とセミナーの実施および新規立上げの科学写真研究会（原子核乾板技術研究発表会）と活動を復活した表現と技術研究会プロジェクト活動を通じた入会活動を行った。

今年度は、これらの活動のさらなる充実を図る。

#### 4. 研究及び調査の実施（定款第5条（3））

##### 4-1 技術委員会専門研究会活動の実施

技術委員会の中に本学会の主要科学技術分野別の部会・研究会を設け、以下の活動を行うことにより、本学会会員の研究の発展と資質の向上並びに会員の増強をはかる。

特に、本学会が取り組む技術分野の拡大・充実化と写真で培った基盤技術の深耕・展開をはかるために科学写真研究会の充実をさらに進めるとともに、画像入出力部会と写真文化拡大部会が主になって、写真愛好家層への学会活動の充実をはかる。

また、画像関連学会連合会としての合同研究会の枠組み構築し、積極的再構成を検討する。

##### 【画像入出力部会】

部会の研究会活動を活性化する。

- ・画像入出力研究会  
年次大会の企画・運営に参加する。
- ・カメラ技術研究会  
年7回の研究会を開催する。「カメラ技術セミナー」を企画・運営する。
- ・表現と技術研究会  
年次大会および写真好きのためのワークショップ（仮称）の企画・運営に参加する。年に数回の研究会を開催し、銀塩プリントとデジタルプリントに関してのディスカッションを行う。

##### 【アンビエント画像部会】

傘下の研究会はアンビエント画像研究会のみであり、本年度も部会と一体で活動する。

- ・アンビエント画像研究会  
研究会活動内容の再検討を行う。年次大会・秋季大会の企画・運営に参加する。

##### 【医用画像部会】

傘下の研究会は医用画像研究会のみであり、本年度も部会と一体で活動する。

- ・医用画像研究会  
他の医用画像関係の学会とともにメディカルイメージング連合フォーラムを開催する。

##### 【画像保存部会】

下記、研究会とともに画像保存への取り組みを推進するとともに、学会HP、学会誌にて活動を広く周知する。

・画像保存研究会

平成 29 年度画像保存セミナーを企画，実行する。  
勉強会実施の準備を行う。

・デジタルアーカイブ研究会

デジタル画像の保存とその技術についての勉強会を実施し，急速に進展するデジタル分野の情報を収集，発信する。画像保存研究会と協力して，平成 29 年度の画像保存セミナーを企画，実行する。  
・文化財写真の保存に関するガイドラインの更新準備を昨年度に引き続き行う。

【アンビエント技術部会】

光機能材料研究会とアンビエント技術研究会の両輪で，材料系研究における活動基盤づくりを進め，学会内外への研究会活動を展開と其々の講演研究事業の実施と年次大会および秋季大会においてアンビエント技術セッションを企画する。

・アンビエント技術研究会

会員内外の参加を目的とした研究会の開催を行う。（3 回開催予定。）第 5 回アンビエント技術セミナーを企画開催する。研究会の成果を学会誌に特集企画する。

・光機能性材料研究会

第 14 回光機能性材料セミナーを企画開催する。研究会の成果を学会誌に特集企画する。

【写真文化拡大部会】

写真学会と一般の写真愛好家，写真大学を中心とした学生との交流を中心としつつ，カメラ好きの女性にまで対象を広げていくべく活動を行っていく。用紙の選択肢が広がっている環境下において，撮影からプリントまで，RAW データの扱い方を含めたプリントの基礎講座のような，専門家以外の方々に対象にした企画を行い，参加者に写真学会の存在をアピールできる活動を行ってゆく。写真学会の専門性を活かし，一般人との垣根を低くする活動を行いたい。

【科学写真研究会】

原子核乾板技術研究会および天体写真技術研究会の両輪で，科学写真系研究における活動基盤づくりを進め，学会内外への研究会活動の展開とそれぞれのセミナー等の講演研究事業の実施と年次大会，秋季大会および国際学会での発表を企画する。

・原子核乾板技術研究会は，素粒子検出のための原子核乾板などの科学写真に関して，年次大会・秋季大会での研究発表と，成果の学会誌への投稿を関係者に促す。銀塩写真技術の専門家と原子核乾板利用者との技術交流を深める発表会等の企画を行う。

・天体写真技術研究会は，学会員向けの「画像技術の原理を知って作品作りのレベルアップにつなげてもらうこと」を目指した研究会」を継続するとともに，研究会活動に関心を持って参加してくれる人を増やすため，7 月に外部講師を招聘して天体写真の楽しさとその背景にある技術を紹介するセミナーを実施する。

4-2 技術委員会 進歩レビュー分科会活動：「写真の進歩」作成

専門分野別の年次レビュー「写真の進歩」作成を行い，学会誌上で報告し，学会ホームページに掲載する。

5. 内外の関連学協会との連絡及び協力（定款第 5 条（4））

5-1 関連学協会との連絡協力による研究発表会，討論会などの実施

- 1) 画像関連学会連合会（日本画像・日本印刷・画像電子・日本写真の各学会）代議員会を引き続き推進し，今年度の第 4 回合同秋季大会の開催，第 1 回合同年次大会の開催，連合会学会会員の技術意識調査の結果をまとめ，次世代技術領域の創成活動の具体化および合同研究会の創設等の課題の具体化を図り，画像関連学会連合会の連携領域の拡大をはかる。
- 2) PHOTONEXT 技術アカデミー（平成 29 年 6 月 20 日，パシフィコ横浜：日本写真学会主催）写真感光材料工業会共催，（株）プロメディア後援，（公社）日本写真協会，（一社）日本写真文化協会，（協）日本写真館協会，（一社）日本写真映像用品工業会，日本フォトイメージング協会協力）
- 3) 第 1 回画像関連学会連合会合同年次大会（平成 29 年 6 月 20 日—21 日，一橋講堂：画像関連学会連合会主催）

- 4) 画像関連学会連合会第 4 回合同秋季大会（平成 29 年 11 月 30 日—12 月 2 日，京都工芸繊維大学：画像関連学会連合会主催，京都工芸繊維大学共催）

- 5) CP+2018 学術団体コーナー展示（平成 30 年 3 月 1 日～4 日，パシフィコ横浜：カメラ映像機器工業会主催，日本オプトメカトロニクス協会・日本光学会と共同）

- 6) CP+2018 技術アカデミー協力（平成 30 年 3 月 1 日～4 日，パシフィコ横浜：カメラ映像機器工業会主催，日本オプトメカトロニクス協会・日本光学会と共同）

- 7) 第 51 回光学五学会関西支部連合講演会（詳細未定：光学五学会関西支部主催）

- 8) メディカルイメージング連合フォーラム 2019（平成 30 年 1 月，日本アイソトープ協会主催）日本写真学会共催

5-2 国際交流に関する事項

- 1) 平成 30 年度画像関連学会連合会合同年次大会で国際会議 DAY（International Conference on Advanced Imaging）を設定することを画像関連学会連合会代議員会内で検討する。

6. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第 5 条（5））

- 6-1 平成 29 年度学会賞（功績賞，功労賞，学術賞，技術賞，論文賞，進歩賞，東陽賞，会長表彰）の授与。

- 6-2 平成 29 年度コニカミノルタ科学技術振興財団写真研究奨励金の授与

- 6-3 平成 29 年度小島裕研究奨励金の授与

- 6-4 平成 30 年度学会賞（名誉賞，功績賞，功労賞，学術賞，技術賞，論文賞，進歩賞，東陽賞，会長表彰）受賞者の選考

- 6-5 平成 30 年度コニカミノルタ科学技術振興財団写真研究奨励金交付対象者の選考

- 6-6 平成 30 年度小島裕研究奨励金交付対象者の選考

- 6-7 名誉会員の推薦，永年会員の認証

- 6-8 フェローの推薦と認定

7. その他目的を達するために必要な事項（定款第 5 条（6））

- 7-1 運営に関する会議

第 6 回社員総会（平成 29 年 6 月 21 日），理事会（年 7 回），役員研修会（年 1 回），学会賞選考委員会（年 1 回），代表理事会（年 10 回），財務委員会（年 2 回）および庶務委員会，人事委員会，その他。

- 7-2 編集委員会（年 4 回）

学会誌の編集方針，内容の更新，特集・各種記事の企画，論文審査体制，著作権の整備などの検討を行う。平常業務は電子メールを活用し，委員間の意見交換を随時行う。会員からの学会誌に関する意見聴取につとめる。学会誌の電子ジャーナル化作業を引き続き行い，同時に投稿を呼びかける。英文論文誌の掲載論文数を増加させるための方法を検討する。

- 7-3 技術委員会

定期的に各技術部会・研究会の代表者が集まり（電子メールによる会議含む），研究会の活性化及び活動状況等の情報交換を行う。又，研究会，講演会，セミナーなどを適宜開催し，広く本学会内外に活動状況を提示することにより，本学会における当該科学技術分野の向上を図る。年次大会，秋季大会での研究発表を活性化するとともに，画像連合会としての研究活動を推進する。

- 7-4 企画実行委員会

新規技術領域の講演研究事業の企画ならびに実行推進にあたるため，会長，企画担当副会長，技術担当副会長の代表理事からなる当委員会，具体策の検討を図る。又，写真文化拡大活動を画像入出力部会・写真文化拡大部会が連携して進めると共に，関連学協会との連携強化を検討と実行推進を図る。

- 7-5 国際交流委員会

平成 30 年度（2018 年）画像関連学会連合会合同年次大会開催時に，この中で，国際会議 DAY（International Conference on Advanced Imaging）を設定することを画像関連学会連合会代議員会内で検討する。

- 7-6 広報委員会

ホームページの改善および会員へのタイムリーな情報の発信を継続的に行う。日本写真学会創立 90 周年の記念事業と連携し、ホームページの更新を行う。写真関係のイベント等を通じ、一般の方々へ本会の紹介を積極的に行う。

7-7 会勢拡大委員会

編集委員長提出文を記載（昨年同一内容）  
各種講演会、セミナーでの正会員勧誘に加え、役員主導の勧誘活動を行う。又、賛助会員についても、カメラ関連、画像関連など、従来非会員であった分野にも役員主導の積極的に働きかける。

新規技術部会、研究会のメンバー拡大を図り、部会・研究会の活性化を図る。

7-8 画像関連学会連合会関連委員会

画像電子学会、日本印刷学会、日本画像学会と日本写真学会の会長・副会長からなる平成 29 年度の代議員会を適宜実施し、4 学会協同事業として、第 1 回画像関連学会連合会年次大会（平成 29 年 6 月、一橋講堂）と第 4 回画像関連学会連合会秋季大会（平成 29 年 11 月、京都工芸繊維大学）、および平成 30 年度以降の各事業の推進体制を決めて、内容の検討を行う。

7-9 科学技術振興機構電子アーカイブ事業

科学技術振興機構による学会誌の電子アーカイブ事業に基づく例年の作業として、科学技術振興機構と共同で日本写真学会誌の電子化を行う。

7-10 日本写真学会 90 周年記念事業

英文論文発表および海外研究者からの投稿促進を目的とした英文誌対応を中心にホームページ改革を引き続き推進する。

【第 5 号議案】 平成 29 年度役員等の選任

| 収支予算書                      |              |               |             |
|----------------------------|--------------|---------------|-------------|
| 平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで |              |               |             |
| (単位:円)                     |              |               |             |
| 科 目                        | 予算額          | 前年度予算額        | 増 減         |
| I 一般正味財産増減の部               |              |               |             |
| 1. 経常増減の部                  |              |               |             |
| (1) 経常収益                   |              |               |             |
| 基本財産運用利益                   | [ 10,602]    | [ 3,594]      | [ 7,008]    |
| 基本財産受取利息                   | 10,602       | 3,594         | 7,008       |
| 受取会費                       | [ 9,947,000] | [ 10,120,000] | [△ 173,000] |
| 正会員受取会費                    | 5,199,000    | 5,640,000     | △ 441,000   |
| 賛助会員受取会費                   | 4,748,000    | 4,480,000     | 268,000     |
| 事業収益                       | [ 5,526,026] | [ 5,315,000]  | [ 211,026]  |
| 講演・研究事業収入                  | 5,526,026    | 5,315,000     | 211,026     |
| 受取寄付金                      | [ 600,000]   | [ 600,000]    | [ 0]        |
| 受取寄付金                      | 600,000      | 600,000       | 0           |
| 雑収益                        | [ 1,434,777] | [ 2,118,546]  | [△ 683,769] |
| 受取利息                       | 3,177        | 8,540         | △ 5,363     |
| 広報・広告費                     | 291,600      | 409,500       | △ 117,900   |
| 別刷・投稿料                     | 480,000      | 1,090,740     | △ 610,740   |
| 雑収益                        | 660,000      | 609,766       | 50,234      |
| 経常収益計                      | 17,518,405   | 18,157,140    | △ 638,735   |
| (2) 経常費用                   |              |               |             |
| 事業費                        | [ 8,823,000] | [ 9,033,000]  | [△ 210,000] |
| 学会誌等刊行事業費                  | ( 3,750,000) | ( 3,680,000)  | ( 70,000)   |
| 事務給与                       | 10,000       | 0             | 10,000      |
| 学会誌発送費                     | 350,000      | 350,000       | 0           |
| 交通費                        | 40,000       | 0             | 40,000      |
| 印刷製本費                      | 3,000,000    | 3,000,000     | 0           |
| 雑費                         | 10,000       | 0             | 10,000      |
| 原稿編集費                      | 70,000       | 60,000        | 10,000      |
| J - S T A G 編集費            | 250,000      | 250,000       | 0           |
| 審査校正料                      | 20,000       | 20,000        | 0           |
| 講演研究事業費(1)                 | ( 2,823,000) | ( 3,003,000)  | (△ 180,000) |
| 給料手当                       | 252,000      | 393,000       | △ 141,000   |
| 旅費                         | 231,500      | 350,500       | △ 119,000   |
| 会場費                        | 200,000      | 243,000       | △ 43,000    |
| 通信運搬費                      | 58,500       | 33,500        | 25,000      |
| 会議費                        | 103,000      | 98,000        | 5,000       |
| 諸印刷金                       | 836,000      | 722,500       | 113,500     |
| 印刷製本費                      | 459,000      | 553,500       | △ 94,500    |
| 雑費                         | 54,000       | 37,500        | 16,500      |
| 参加者会合費                     | 629,000      | 571,500       | 57,500      |
| 講演研究事業費(2)                 | ( 700,000)   | ( 800,000)    | (△ 100,000) |
| 旅費                         | 30,000       | 150,000       | △ 120,000   |
| 会場費                        | 0            | 120,000       | △ 120,000   |
| 通信運搬費                      | 200,000      | 100,000       | 100,000     |
| 会議費                        | 0            | 30,000        | △ 30,000    |
| 消耗品費                       | 5,000        | 5,000         | 0           |
| 諸印刷金                       | 155,000      | 75,000        | 80,000      |
| 印刷製本費                      | 200,000      | 200,000       | 0           |
| 雑費                         | 110,000      | 120,000       | △ 10,000    |
| 奨励助成事業                     | ( 1,550,000) | ( 1,550,000)  | ( 0)        |
| 奨励助成金                      | 1,550,000    | 1,550,000     | 0           |
| 管 理 費                      | [ 8,618,121] | [ 8,606,993]  | [ 11,128]   |
| 給料手当                       | ( 3,999,300) | ( 4,753,264)  | (△ 753,964) |
| 事務員給料                      | 3,782,300    | 3,553,264     | 229,036     |

| 科 目             | 予算額        | 前年度予算額     | 増 減        |
|-----------------|------------|------------|------------|
| 臨時雇用賃金          | 217,000    | 1,200,000  | △ 983,000  |
| 会費負担金           | 254,000    | 303,000    | △ 49,000   |
| 旅費交通費           | ( 850,000) | ( 760,400) | ( 89,600)  |
| 事務員交通費          | 600,000    | 560,400    | 39,600     |
| 役員交通費           | 250,000    | 200,000    | 50,000     |
| 減価償却費           | 40,250     | 52,500     | △ 12,250   |
| 通信運搬費           | 440,000    | 350,000    | 90,000     |
| 租税公課費           | 74,000     | 72,000     | 2,000      |
| 消耗品費            | 120,000    | 100,000    | 20,000     |
| 福利厚生費           | ( 667,091) | ( 744,349) | (△ 77,258) |
| 法定福利費           | 667,091    | 744,349    | △ 77,258   |
| 賃借料             | 123,480    | 123,480    | 0          |
| 諸謝金             | 1,750,000  | 647,000    | 1,103,000  |
| 印刷製本費           | 0          | 351,000    | △ 351,000  |
| 事務所維持管理費        | 200,000    | 200,000    | 0          |
| 雑費              | 100,000    | 150,000    | △ 50,000   |
| 経常費用計           | 17,441,121 | 17,639,993 | △ 198,872  |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 77,284     | 517,147    | △ 439,863  |
| 評価損益等計          | 0          | 0          | 0          |
| 当期経常増減額         | 77,284     | 517,147    | △ 439,863  |
| 2. 経常外増減の部      |            |            |            |
| (1) 経常外収益       |            |            |            |
| 経常外収益計          | 0          | 0          | 0          |
| (2) 経常外費用       |            |            |            |
| 経常外費用計          | 0          | 0          | 0          |
| 当期経常外増減額        | 0          | 0          | 0          |
| 当期一般正味財産増減額     | 77,284     | 517,147    | △ 439,863  |
| 一般正味財産期首残高      | 0          | 0          | 0          |
| 一般正味財産期末残高      | 77,284     | 517,147    | △ 439,863  |
| II 指定正味財産増減の部   |            |            |            |
| 当期指定正味財産増減額     | 0          | 0          | 0          |
| 指定正味財産期首残高      | 0          | 0          | 0          |
| 指定正味財産期末残高      | 0          | 0          | 0          |
| III 正味財産期末残高    | 77,284     | 517,147    | △ 439,863  |

1. 新役員候補者（敬称略）

1-1 新役員候補者（敬称略）

- 1) 理事 10 名  
西澤 敦（セイコーエプソン）大関 勝久（東京国立近代美術館）  
郡司 秀明（日本印刷技術協会）蒔田 剛（キヤノン）  
松澤 良紀（オリンパス）加藤 隆志（富士フイルム）  
中野 寧（コニカミノルタ）半那 純一（東京工業大学）  
白山 真理（日本カメラ博物館）飯野 裕明（東京工業大学）

2) 監事 1 名

- 豊田 堅二（日本大学）

1-2 残留役員（敬称略）

1) 理事 9 名

- 岩崎 仁（京都工芸繊維大学）久下 謙一（千葉大学）  
甲田 謙一（日本大学）小林 裕幸（千葉大学）  
鈴木 博文（ニコン）中川 邦弘（三菱製紙）  
山田 勝実（東京工芸大学）吉田 哲夫（名古屋大学）  
吉田 英明（オリンパス）

2) 監事 1 名

- 高田 俊二（千葉大学）

参考

2. 平成 29 年度評議員

1) 平成 29 年度委嘱 15 名

- 三宅 洋一（千葉大学）大石 恭史（元会長）  
大野 隆司（千葉大学）奥村 資紀（セイコーエプソン）  
北見 耕一（東京工芸大学大学法人）黒田 徹（日本放送協会放送技術研究所）  
久保田 敏弘（京都工芸繊維大学）後藤 哲朗（ニコン）  
腰塚 国博（コニカミノルタ）古森 重隆（富士フイルム）  
藤嶋 昭（東京理科大）金田 直也（キヤノン）  
義江 龍一郎（東京工芸大学）原 直久（日本大学）  
島田 文生（コニカミノルタ科学振興財団）

2) 残留評議員 9 名

- 阿部 隆夫（信州大学）鈴木 邦夫（三菱製紙）  
小川 治男（オリンパス）田中 俊夫（京都工芸繊維大学）  
谷 忠昭（日本写真学会フェロー）松田 元伸（大阪府立大学）  
伊沢 太郎（凸版印刷）山田 真平（三菱製紙）  
金田 英治（日本写真学会フェロー）

3. 幹事 18 名

- 稲垣由夫（元富士フイルム）内田孝幸（東京工芸大学）  
大川泰輔（セイコーエプソン）大川裕輔（千葉大学）  
河合清（富士フイルム）桑原孝夫（富士フイルム）  
桑山哲郎（千葉大学）清野晶宏（イマジカ）

高橋則英（日本大学）田中里実（日本大学）  
津村徳道（千葉大学）中竜大（名古屋大学）  
松下艶子（ニコン）松本政雄（大阪大学）  
宮本公明（元富士フイルム）山口孝子（東京都写真美術館）  
山下清司（富士フイルム）吉野弘章（東京工芸大学）

【第 6 号議案】 会員の除名

定款第 10 条により、22 名を除名とする。

以 上

一般社団法人 日本写真学会 第 6 回定時社員総会議事録

- 1. 開催日時：平成 29 年（2017 年）6 月 21 日(水) 9：00 ～ 9:40
- 2. 会 場：一橋講堂（学術総合センター）2 階会議室 2 0 2、2 0 3 室  
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
- 3. 議決権を有する代議員総数  
2 7 名
- 4. 議決権を有する出席代議員数  
2 1 名（本人出席：6 名、委任状：1 5 名）
- 5. 出席代議員  
飯野裕明、内田孝幸、水口淳、山野泰照、徳永辰幸、加藤隆志
- 6. 出席役員および役員候補者  
理事：井上義之、大関勝久、久下謙一、桑山哲郎、甲田謙一、小林裕幸、西澤敦  
鈴木博文、中川邦弘、中野寧、松澤良紀、山田勝実、吉田哲夫、吉田英明  
加藤隆志、飯野裕明、白山眞理  
監事：豊田堅二
- 7. 議事録作成者  
事務局：山岸治
- 8. 議事の経過の要領及びその結果  
会長の小林裕幸は定款第 1 7 条の規定により、議長となり開会を宣言し、定款第 1 9 条の規定により、上記のとおり、定足数に足る代議員の出席があったので、本社員総会は適法に成立した旨を報告し、議事に入った。  
ついで議長は、定款第 2 1 条の規定により、議事録署名人を指名したい旨を述べ、中野寧氏および吉田哲夫氏を選任したい旨を述べた。その賛否を議場に諮ったところ満場異議なく、これに賛成した。  
ついで議長は、定款第 1 4 条の規定により、以下の第 1 号議案から第 7 号議案の報告及び説明と決議を行うことを宣言した。

第 1 号議案 平成 2 8 年度事業報告の件  
議長に指名された吉田英明庶務委員長は、平成 2 8 年度の事業実施報告を説明し、その内容を報告した。

第 2 号議案 平成 2 8 年度決算報告・会計監査報告  
議長に指名された甲田謙一財務委員長は、平成 2 8 年度の決算報告書にて収支決算を報告し、財務監査および決算書作成時に会計士資格保有の専門家の確認がされているかについて、朝日税理士法人で確認している旨の質疑を行った後、豊田監事から監査の結果正確なることを認める監査報告があり、その賛否を議場に諮ったところ、満場異議なく、これを承認可決した。

第 3 号議案 平成 2 9 年度事業計画書の件  
議長に指名された吉田英明庶務委員長は、平成 2 8 年度の事業計画書を説明し、その内容を報告した。その賛否を議場に諮ったところ、満場異議なく、これを承認可決した。

第 4 号議案 平成 2 9 年度収支予算書の件  
議長に指名された甲田謙一財務委員長は、平成 2 9 年度収支予算書にて、平成 2 9 年度収支予算案を説明し、その内容を報告した。その賛否を議場に諮ったところ、満場異議なく、これを承認可決した。

第 5 号議案 平成 2 9 年度役員等の選任  
議長は、定款第 2 3 条の規定により、平成 2 9 年度の改選役員候補の理事及び監事の議事を行うことを宣言し、同小林裕幸選考委員は、平成 2 9 年度の改選役員候補の理事及び監事を説明し、その改選を議場に諮ったところ、満場異議なく、これを承認可決した。

新任理事 飯野裕明、加藤 隆志、白山 眞理、`蒔田 剛  
再任理事 西澤 敦、大関 勝久、郡司 秀明、松澤 良紀、中野 寧、半那 純一  
再任監事 豊田 堅二

第 7 号議案 会員の除名  
議長は、定款第 1 1 条の規定により、2 2 名の会員資格を喪失する事を説明し、その賛否を議場に諮ったところ満場異議なく、これを承認可決した。  
以上をもって本総会における報告及び全議案の審議を終了したので、議長は午前 9 時 5 0 分に閉会を宣した。

上記議事の経過及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、定款 2 1 条により、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成 2 9 年 6 月 2 1 日  
一般社団法人 日本写真学会 第 6 回定時社員総会

議長 小林 裕幸



議事録署名人 中野 寧



議事録署名人 吉田 哲夫

